

交通安全通信

第六十一号 (秋号)

秋の全国交通安全運動

【期間】

令和五年九月二十一日から
九月三十日までの十日間実
施されます。

【スローガン】

安全を
つなげて広げて
事故ゼロへ

【運動の重点】

- 一、子どもと高齢者を始めとする歩行者の安全の確保
 - 二、夕暮れ時と夜間の交通事故防止及び飲酒運転等の根絶
 - 三、自転車盗のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底
 - 四、自分自身と相手を守る交通ルールとマナーの徹底
- く人も車も自転車もく



～総務交通安全センター～
スルガ自動車学校

〒424-0204
静岡県清水区興津中町522-1
フリーダイヤル0120-017-120

夕暮れ時の早めの ライトオン

清水警察署より

清水警察署交通課 金岩係長

暑かった夏が終わりに近づき、日に日に日が早まってきました。これからの季節、みなさんはどのようなことに気を付けますか？

今回の安全運動の重点の中に、「歩行者の安全確保」、「夕暮れと夜間の交通事故防止」というキーワードがあります。

過去の統計を見ますと、例年秋から冬にかけて、夕暮れ時から夜間の交通事故、特に歩行者が関係する事故が増加する傾向にあります。

では、「夕暮れ」にはどのような危険があるのでしょうか。

これからの時期、暗くなる時間と、通勤・通学など多くの人や車が移動する時

間が重なるため、交通事故発生リスクが高まります。

もう一つの危険は、暗さに対する認識が人それぞれ異なることです。周囲が薄暗くなり始めたときから、見えにくさは起こります。薄暗くなると、人や車は周囲の暗さと同化して見えにくくなり、また人の目は、明るさの変化に対応しきれず、一時的に視力が低下します。改めてドライバーの皆さんには「早めのライトオン」（2月までは午後4時から）をお願いします。

早めのライトオンは、
・ドライバーからの見えにくさ解消
・歩行者からの車の見えにくさ解消

効果的なので、「見えていないつもり」ではなく、「歩行者への存在アピール」として、点けていただきたいと思えます。

最後に、「歩行者の安全確保」と「夕暮れと夜間の交通事故防止」のため、次のことをお願いします。

最後に、「歩行者の安全確保」と「夕暮れと夜間の交通事故防止」のため、次のことをお願いします。

①慌てず、焦らず、確実な安全確認

②横断歩道は歩行者優先の再認識

③早めのライトオンとハイビームの活用

歩行者は自分自身を守ることに心掛け、自転車を含めた運転者はハンドルを握ることの責任の重さを再認識し、歩行者を守り安全運転を心掛けましょう。

自転車のルール みなさんは把握 していますか？

「自転車は車の仲間」ということはご存じだと思います。自動車と比べて速度は遅いものの、車両の一種という事です。つまり、自転車の運転手は「**車社会の一員**」ということをお自覚しなければいけません。

静岡県で起きている自転車事故は年間四五〇〇件程度ですが、**致死率は自動車事故の約二・四倍**です。

事故で最も多いものが「**出合頭事故**」で、その7割は「**信号機の無い交差点**」で発生しています。一時停止や安全確認をしていけば防げる事故が非常に多いです。

みなさんは、自転車で交差点や横断帯などを通行するときの安全確認をしていますか？

しずおか自転車事故防止 3つの柱 プラスワン

【一の柱】**交差点では、周りに気を付けよう！**

【二の柱】**一時停止場所では、しっかり停まろう！**

【三の柱】**急がず、ゆっくり走ろう！**

【プラスワン】**アシスト自転車の特性（加速・車重）を理解しよう！**



「アシスト自転車」を見たり運転したことある方がいると思います。身近なものでいうと、レンタサイクルの「パルクル」が電動のアシスト自転車です。

アシスト自転車を運転する際、特に「発進時」に注意しなければなりません。少し漕いだけで**一気に加速できるからです。**

このアシストは、パワーが必要な発進時や上り坂の走行で非常に頼りになる機能です。しかし、状況によっては周りを危険にさらしてしまいかもれません。利用するときは、充分注意して下さい。

釣り中の事故に注意

清水海上保安部より

秋になると暑さも和らぎ、釣りに出かける人が増えます。しかし、海が穏やかでも事故に遭う危険性があります。

●「一発大波に注意」

夏から秋にかけては台風季節です。台風は、強い風で大きな波を起こし、遠く離れた風のないころまで波を伝えます。この波は、長い距離を伝わる内に小さくなるのですが、波同士が重なって、大きな波になることがあります。この大きな波は千波に一波くらい割合で発生し、通常の2倍の大きさの「一発大波」となって沿岸を襲うと言われています。

●「釣り中の事故発生」

釣り中の事故は毎年発生しています。今年も釣りをしていた男性が、バランスを崩して海へ落ちて流されてしまった事故が起きています。男性は

●「命を守るために」

- ① ライフジャケットの着用
- ② 連絡手段の確保（防水パック入り携帯電話など）
- ③ 緊急時に118番通報を守りましょう。

さらに次のことにも注意しましょう。

- ① 無理をしない
- ② 単独行動をしない
- ③ 立入禁止区域に入らない
- ④ 計画を第三者に伝える

これらの事項を守り、安全に釣りを楽しみましょう

